感謝の手紙

松　戸　警　察　署

行方不明事案対応に対する感謝の手紙

松戸警察署生活安全課及び矢切り交番様対応お礼

令和3年　月　日　午後3時[redacted]より泣きながら電話が入り、誰先とのことで悩み死にたいと言ってきました。小さな声で泣きながらの言葉にてよく聞き取れなかったのですが、そのような内容でした。

午前中で仕事の切りを付けて矢切りの住まいに向かいました。呼びかけてもドアをたたいても応答がなく、悪い予感がし家族と協議し調査に助けを求めました。

すぐ矢切り交番課員を派遣していただき応答を試みましたが安はどと応答事がない状態でした。

その後私の娘より、本人医者に行っているので薄くなるとラインがあったと電話が有り、交番の方と確認するまで待ちました。

その間[redacted]さんと[redacted]さんが交代で付き添っていただいていましたが現れず、本署の生活安全課の方が見え確認に来ないため本署にて事情を聞かれ、その後電話番号松戸駅近くのビジネスホテルまで送っていただきました。

翌日、生活安全課の方より本人を見つけたと連絡を受け安全課の方と本署に向い接触と対面しました。

相手の主張にも同様との今後を確認してできる安確認しました。

今まで警察官といえば怖い方と思っていましたが大変親切に対応していただき、今後もなにかあれば対応しますとの事で安心し、全たかいがあったと思いながら帰宅に着きました。

ありがとうございました。

令和3年　月　日

[redacted]

松戸警察署　署長様

孫娘の安否を心配し他県から赴いた届出人（祖父）の気持ちに寄り添い、行方不明者の対応にあたった職員に対し、感謝の手紙をいただきました。